

夜間録画対応多機能
高画質ドライブレコーダー

MIRUMO[®] eye

DRC-510 取扱説明書



ご購入のお客様へ

この度は、弊社の商品をご購入していただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の際には本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使い下さい。
又、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管して下さい。

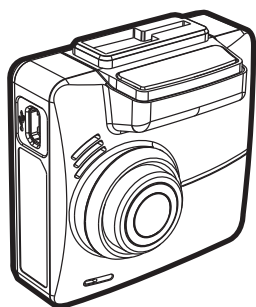
ご使用前に、「安全上のご注意」・「ご使用上のご注意」を
必ずお読みください。

ご使用の前に、「安全上のご注意」「使用上のご注意」「取り付け方」を必ずお読みください。

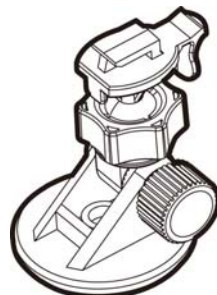
この度は、ドライブレコーダーDRC-510をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

パッケージの内容

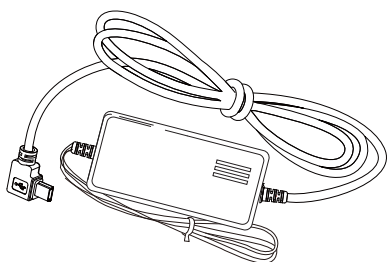
パッケージには次のアイテムが入っています。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。



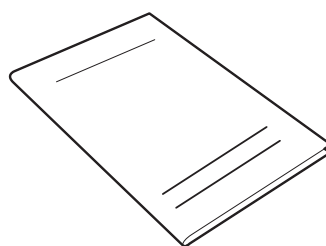
● ドライブレコーダー本体



● ブラケット



● 電源アダプター



● 取扱説明書
(保証書)

もくじ

安全上のご注意	4・5
ご使用上のご注意	6・7
各部の名称	8
ドライブレコーダーの取り付け方	9～12
取付注意事項	9
メモリーカードの挿入・取出し	10
本体(メインユニット)の取り付け方	11
電源の接続方法	12
本製品の電源オン/オフ	13・14
自動電源オン/オフ	13
手動電源オン/オフとリセット	13
アイコンの説明	14
ボタンの説明	14
初期設定	15
日付/時間の設定	15
衛星同期の設定	15
映像録画	16～18
自動録画	16
解像度の設定	16
緊急録画	17
静止画の撮影	18

もくじ

安全運転支援機能	19～25
スピードカメラアラート(オービス警告)	20
制限速度アラート	21
長時間運転アラート	21
追突防止アラート	22
車線逸脱アラート	23
衝突検出	24
駐車モード	25
その他の機能	26
機能チャート画面	26
スピードカメラ位置追加設定	26
フォーマット案内	26
ファイルの再生	27～29
録画再生	27
再生画面	28
ファイルの削除	29
設定メニュー	30～32
再生ソフト(SuperCar)	33～34
SuperCar(PCビューアー)	34
ファームウェア更新について	35
仕様	36

安全上のご注意 ※必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。《危害や損害の程度を区分して、説明しています。》

●表示内容を見逃して誤った扱い方をしたときに生じる損害の程度を次の表示で区分し、説明していきます。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明していきます。



実行

「必ず実行してください」強制です。



禁止

「してはいけない内容」禁止事項です。



警告

安全上のご注意

- 内部に異物が入った・水に浸かった・煙が出ている・変な臭いがする等の場合はすぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
- ブラケットおよびドライブレコーダー本体は、保安基準に従って取り付けてください。(事故の原因となる場合があります。)
- 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして発煙・発火等の原因となります。
- 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様、または持病をお持ちのお客様、妊娠されているお客様等は、医療用機器または体への影響を担当医師にご確認ください。
- 電源コード(12V/24V 車対応)はマイナスアース車専用です。(プラスアース車に使用すると、火災や故障の原因となります)
- コード類を傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。
- 運転者は走行中に画面を注視及び操作しないでください。前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- ヒューズは必ず指定の物を使用してください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱により発煙・発火等の原因となります。
- microSDHC カードおよびその他の付属品等は、子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
- 本製品の本体および付属品を分解または、修理しないでください。感電や故障の原因となります。点検や修理は販売店にご依頼ください。



- 本製品を直射日光が当たる場所や暖房器具の近く等、温度が非常に高い所・湿気やほこりの多い所・油煙の多い所に保管しないでください。変形・変色等を伴う故障の原因になります。
- 本製品を電子レンジ、オーブン等で、加熱したりしないでください。破裂、発火や火傷の原因となります。
- 穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- 本製品や付属品の各端子部に異物が入らないように、ご注意ください。故障の原因となります。
- 本製品や付属品を濡れた手で触れないでください。感電等の原因となります。
- 落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 水や海水、その他の液体がかからないように使用してください。発煙・発火等の原因となります。
- 車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしないでください。車両の安全装置(カメラ・レーダー等)などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因になります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしないでください。エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
- 視界や運転を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。
- コード類は、運転を妨げないように引き回してください。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等に巻きつくと、交通事故や故障の原因となります。
- 車線逸脱警告・前方衝突警告等は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して弊社は一切その責任を負いません。

ご使用上のご注意

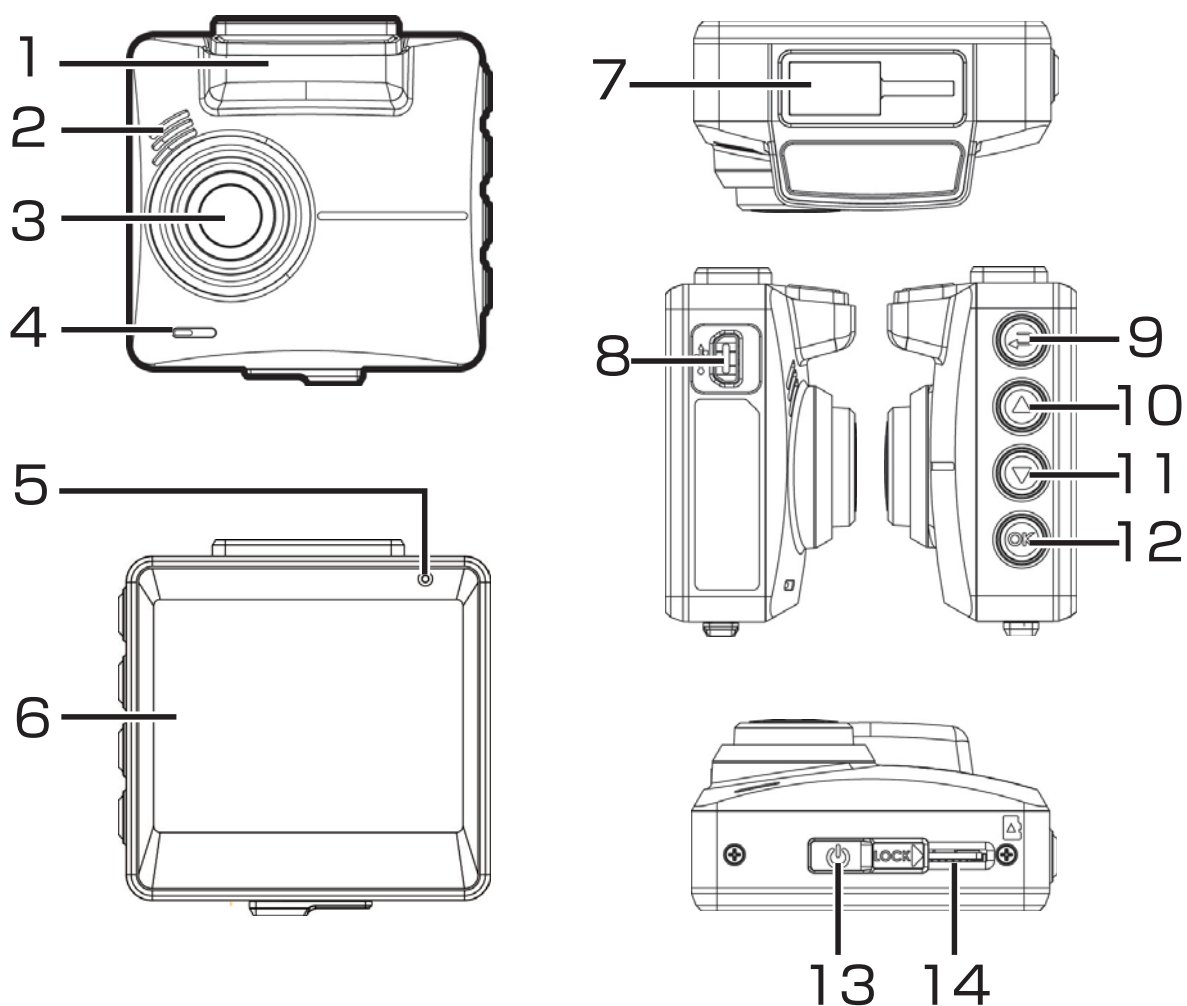


- 本製品は microSDHC メモリーカードを挿入してからご使用ください。メモリーカードなしではご使用できません。
- 本製品で録画した画像は、事故等の証拠効果を保証するものではありません。
- 自動録画は記録を繰り返していますが、全ての場合で録画を保証するものではありません。また事故等の際の記録を保証するものではありません。(保存できない場合もあります)
- 本製品を業務用(バス・トラック・タクシー・商用車等)で使用した場合は保証規定に入りません。
- 本製品の故障や使用状況によって生じた損害、microSDHC のデータ破損、それらによる損害について弊社は、一切その責任を負いません。
- 本製品は日本国内のみで使用できます。
- テレビアンテナ、GPS アンテナの近くには取付けないでください、受信障害になる可能性があります。
- 本製品のオービスポイント案内は取締りの有無を案内するものではありません、オービスの場所を案内したか否かに関わらず、違反等に関して弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品のオービス案内時に表示される制限速度は、当社が独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また気象状況や規制により制限速度は変わりますので、現地の標識や指示にしたがって安全な運転を行ってください。
- 車線逸脱警告・前方衝突警告等は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。
- 本製品を本来の目的以外で使用しないでください。使用方法によってはプライバシーなどの権利を侵害したり、個人情報保護法に抵触する恐れがありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切その責任を負いません。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- 本製品の衝突検知、衝撃検知はそれらの検知を保証するものではありません。
- microSDHC カードは電源スイッチを OFF にして画面が完全に消えてから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDHC カード内に本製品以外のデータを入れないでください。



- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみ等が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- LED 式信号機やLED 表示装置は高速点滅しているので、点滅して撮影される場合がありますが、異常ではありません。
- 逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品の保証対象は本体のみになります、microSDHC カードやその他の付属品は保証対象外となります。
- 安定してご使用いただくため、定期的(1 週間に 1 回程度)に microSDHC カードを本製品の設定メニューからフォーマットすることをお勧めします。
定期的にフォーマットを行わないと、録画できない場合があります。
- microSDHC カードはその特性上、データを書き込める回数に制限(寿命)がありますので 1 年前後を目安に新品と交換することをお勧めいたします。
また、使用状況により寿命が短くなることがあります。
- 本製品のレンズに指で触れないでください。指の脂がレンズに残り、録画映像やスナップショット画像が不鮮明となる場合があります。
- 液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは、故障ではありません。
- 液晶ディスプレイは、周囲の温度が約 75℃以上または約 -10℃以下になると画像が通常と異なる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。温度が安定すると元の状態に戻ります。
- 本製品を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまでに 20 分以上時間がかかる場合があります。
- フロントガラスが鉄粉入りの熱反射ガラスやメタリックフィルム等を装着している場合は、GPS を測位できない場合があります。
- 走行速度や進行角度、距離、ポイント案内、などの表示は、GPS の電波のみで計測しています。測位状況によっては、表示しない場合や実際とは異なる場合があります。
- GPS 位置測定の精度は天候や高層建築、トンネル、地下、森林などの場所によって変わる場合があります。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品や付属品の故障および点検等にとまなう脱着費用、レンタカー代、電話代、商業損失等につきましては保証期間内・外を問わず弊社は一切その責任を負いません。
- 電源の接続は確実に行ってください、(2A 以上確実に供給できる場所)不確実な接続や接続場所が悪いと電圧の低下や変動により誤動作の恐れがあります。

各部の名称

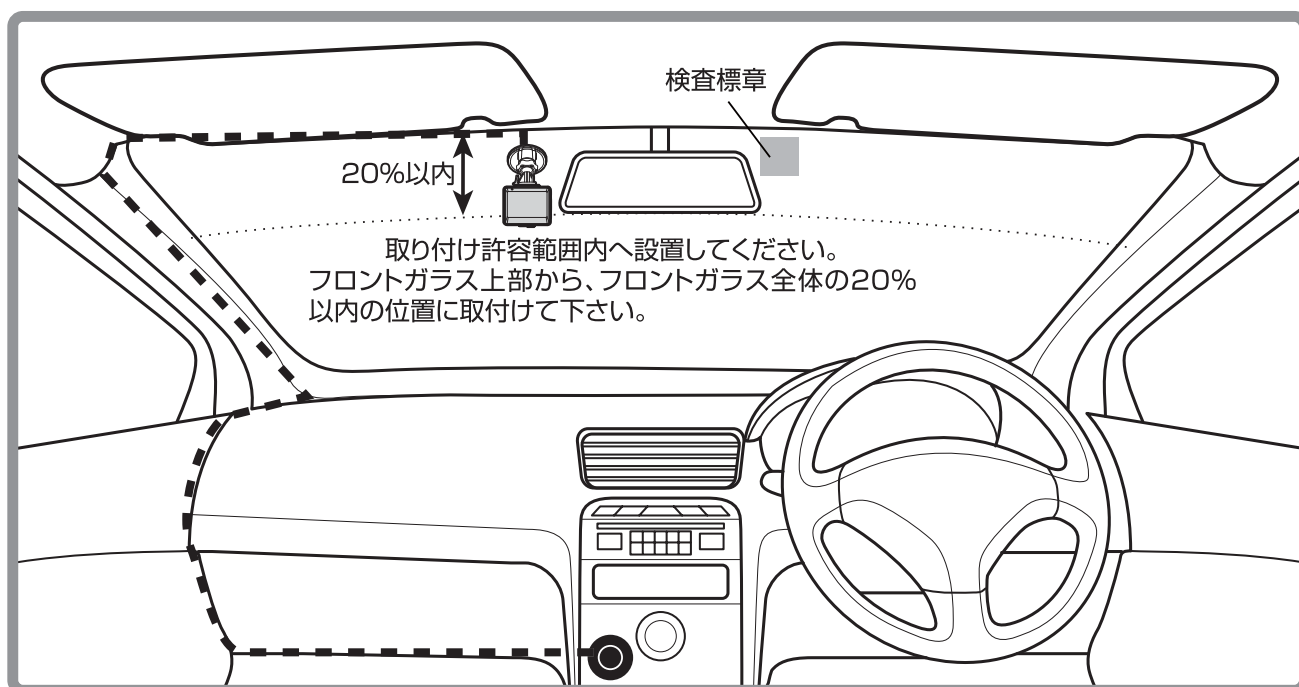


各部の名称

1	GPSアンテナ	8	USB / 電源コネクタ
2	スピーカー	9	(戻る)ボタン(← / 目)
3	広角レンズ	10	(上)ボタン(△ / 目)
4	マイクロフォン	11	(下)ボタン(▽ / 目)
5	LEDインジケータ	12	(OK)ボタン(OK / 目)
6	LCDパネル	13	電源スイッチ
7	ブラケットソケット	14	メモリーカードスロット

性能を十分発揮するために、下記を守って取り付けてください。

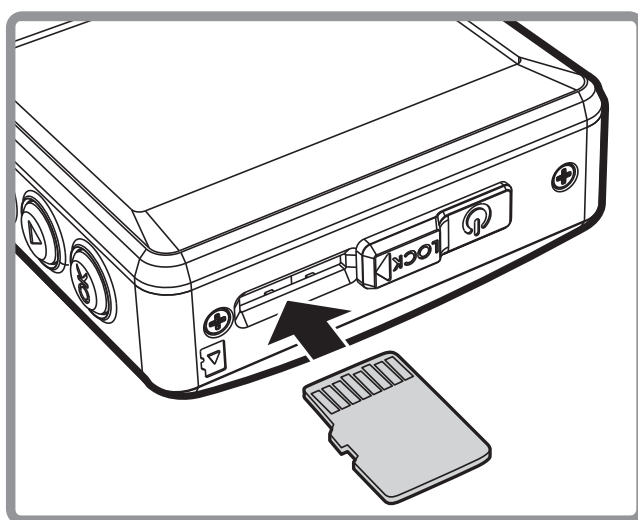
- フロントガラスへの取り付けは、保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より 20% 以内のルームミラーと干渉しない場所に設置してください。
- 検査標章等と重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- 鮮明に録画を行うためにワイパーの稼動範囲に設置することを推奨いたします。
- 地デジ・ラジオや ETC 等のアンテナ近くには本体及び配線を設置しないでください。それらの感度が低下する場合があります。
- 本製品の近くに GPS 受信機能を持つ製品等を設置しないでください。
- フロントガラスのセラミックラインなどが映らないように、取り付けてください。
- 車両安全装置やブレーキアシストシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて、取り付けてください。
- 本機の LED ランプが確認でき、microSDHC メモリーカードを挿入 / 取り出しできる位置に取り付けてください。
- 車両装備品（エアバッグ、その他装備）の動作を妨げないように、取り付けおよび配線を行ってください。
- 鉄粉入りの熱反射ガラスやメタリックフィルム等を装着している場合は GPS を測位できない場合がありますのでご注意ください。



メモリーカードの挿入

図のように、メモリーカードの金色の部分の本機の画面側に向けた状態でカードを挿入します。カチッという音がするまで押し込んでください。

※本機はメモリーカードが挿入されないと動作しません。必ずメモリーカードを挿入の上、ご使用をお願い致します。



メモリーカードの取り出し

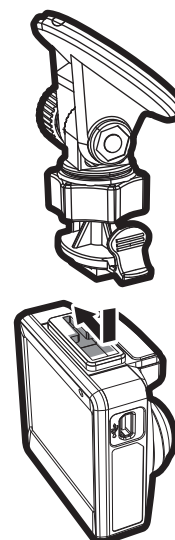
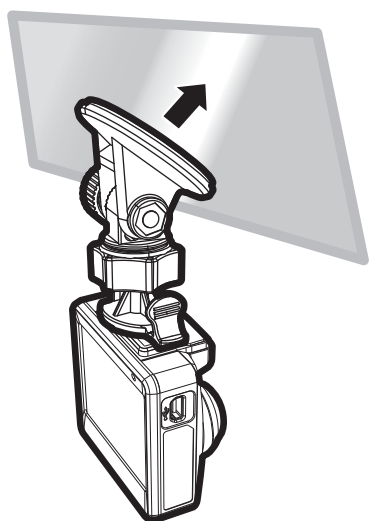
メモリーカードをもう一度押すと、カードがスロットから取り出せます。

⚠ 注意

- メモリーカードを本機から取り出すときは、メモリーカードが素早く排出されますので、なくさないようにご注意ください。
- microSDHC 規格のメモリーカード（Class10 以上 8GB ～ 32GB）を使用してください。
- 本製品の電源がオンの時は、メモリーカードの取出しまたは挿入をしないでください。故障の原因となります。
- 初めて使用するとき、またはメモリーカードを交換した時は本機でフォーマットしてください。

本体の取り付け

1. 付属のブラケットを本機に取り付けます。
カチッという音が聞こえるまでブラケットホルダーに差し込みます。

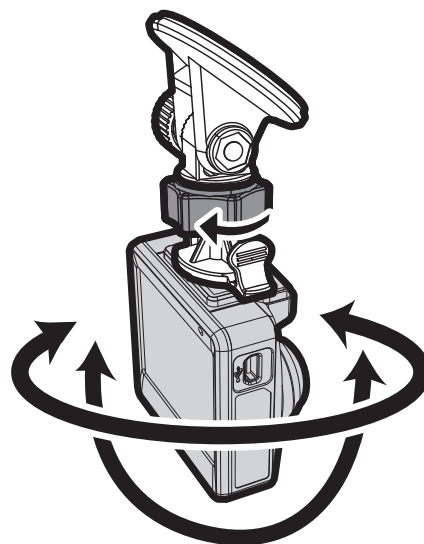


2. ブラケットの接着面を、フロントガラスの取り付ける位置に軽く当てます。

3. フロントガラスにブラケットの接着面を押し付けてしっかりと固定します。

ドライブレコーダー本体の位置調整

1. ノブを緩め、本機を垂直また水平方向に回転させ撮影範囲を調整します。
2. ノブを締め、ドライブレコーダーがしっかりと所定の位置で固定されていることを確認します。



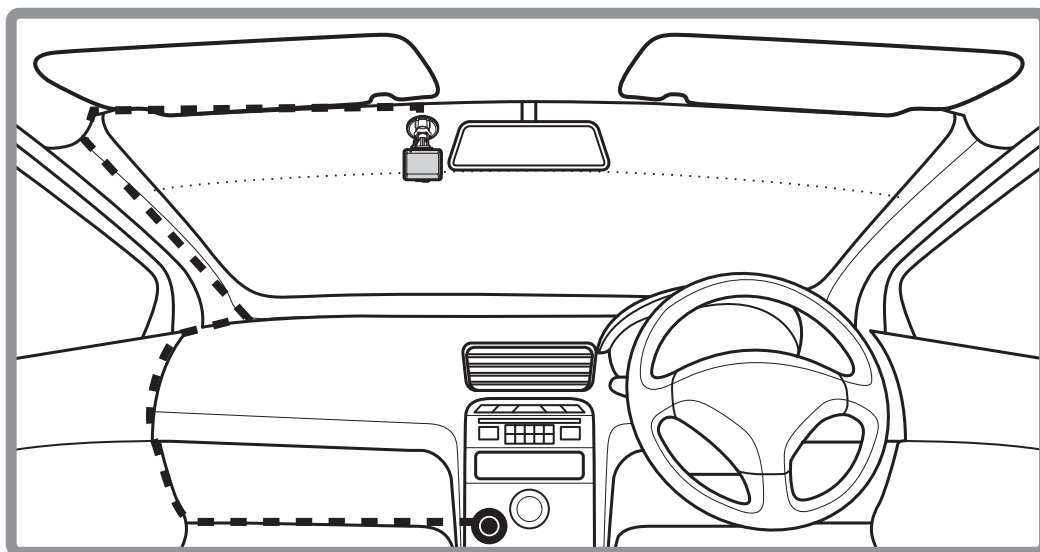
⚠ 注意

本機はルームミラー付近のフロントガラスの中心に取り付けると最適な視界が得られます。車両装備品の動作や運転の妨げにならない位置に取り付けおよび配線を行ってください。

電源への接続

直結用電源コードの場合

付属の電源アダプターの赤色の線は「ACC または イグニッション ON」で 12V 供給される配線に接続し、黒色の線は GND 線に接続します。



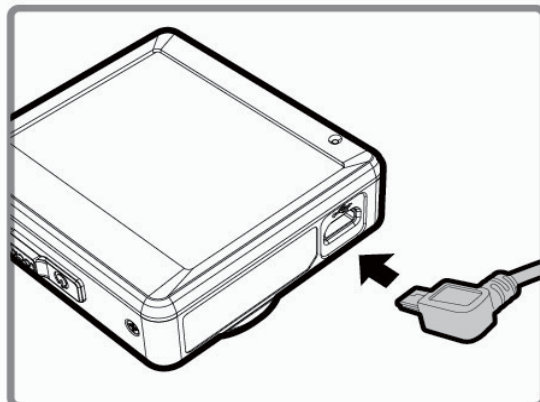
ケーブルは上図を参照して引きまわしてください。

配線の接続には、同梱のエレクトロタップをご使用下さい。

赤線:ACCまたイグニッション線へ接続
黒線:GND線へ接続



配線取り付け後、電源コードの一方の端を本機の USB/ 電源コネクターポートに接続します。
USB ポート入力: DC 5V / 1A



電源のオン/オフ

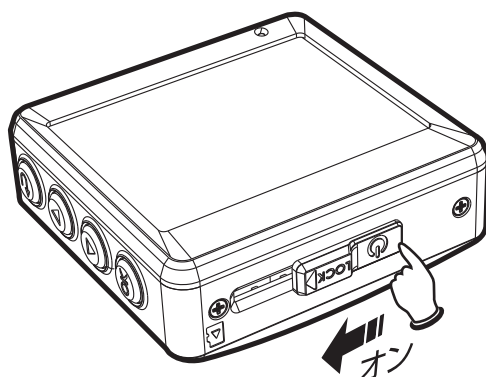
自動電源オン/オフ

エンジンを始動（ACCがオン）すると、本製品の電源が自動的に入り録画・録音を開始します。またACCがオフするとデータを保存後に自動的に電源が切れます。

手動電源オン/オフとリセット

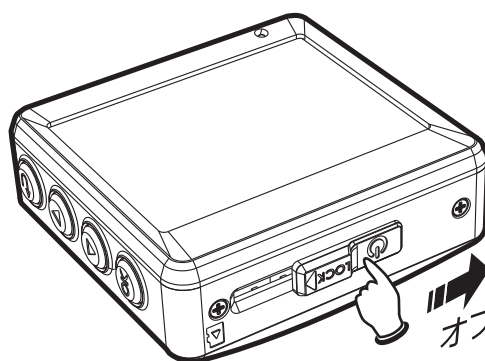
電源オン

電源スイッチを左にスライドすると電源が入ります。
電源スイッチがメモリカードスロットの上で固定されていることを確認して下さい。



電源オフ

電源スイッチを右にスライドすると、電源をオフする動作を開始します。
メモリーカードにデータを保存後、自動的に画面が消えて電源オフの状態になります。



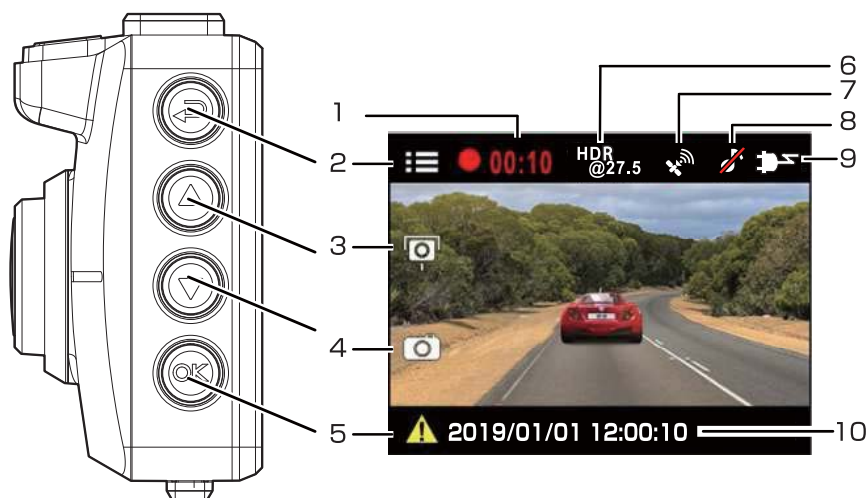
リセット

何らかの原因により本製品が通常どおりに機能しなくなった場合、電源スイッチを右にスライドして、電源をオフにし、その後約7秒経過後に電源スイッチを左にスライドし、再起動して下さい。

⚠ 注意

画面点灯中はメモリーカードの取り出しは行わないでください。録画ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。

アイコン・ボタンの説明



番号	アイコン	項目	説明
1	● 00:10	録画時間	録画時間を表示します。
2	☰	メニュー ボタン	メニュー画面を表示します。 3 秒間押し続けると、機能チャートを表示します。
3	📷	カメラ位置 追加ボタン	▲ ボタンでカメラ位置を追加します。
4	📷	静止画 ボタン	▼ ボタンで静止画を撮影します。
5	⚠	緊急録画 ボタン	📷 ボタンで手動緊急録画を開始します。
6	HDR @27.5	解像度 アイコン	録画の解像度を表示します。
7	📶	GPS アイコン	GPS の測位が出来ている場合は、「📶」アイコンが 画面に表示されます。 「📶」アイコンが表示された場合は GPS の測位が 完了していません。
8	🔇	音声録音 アイコン	音声録音がオフの時に表示します。 オンの時は表示されません。
9	🔌	電源 ステータス	電源コードの状態を表示します。
10	2019/01/01 12:00:10	日付と時間	現在の日時を表示します。

初期設定

本製品を使用する前に、正しい日付/時間設定と自動録画・録音設定をすることを推奨します。

日付 / 時間の設定

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して『日時』を選択し、続いてⓈボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンで数値を調節し、Ⓢボタンを押して次のフィールドを設定します。
4. ステップ3を繰り返して日付と時間の設定を完了します。
5. ➡ボタンを押してメニューを終了します。

衛星同期の設定

衛星同期を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して『衛星時刻同期』を選択し、続けてⓈボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して『オン』を選択し Ⓢボタンを押します。
4. ➡ボタンを押してメニューを終了します。

⚠ 注意

- 衛星同期がオンの場合、本製品の時刻は、衛星の時刻信号により自動調整されます。
- 工場出荷ではGPS同期に設定してあります。その場合はGPSを受信すると、現在の日付と時間が自動で設定されますので、時刻あわせは不要になります。
- 初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまでに20分以上時間がかかる場合があります。測位の状態は、画面上部のGPSアイコンで確認できます。

自動録画

ドライブレコーダーが自動車からの ACC 電源に接続されている場合は、自動車の ACC がオンになると装置は自動的にオンになり、録画を開始します。
ACC をオフにすると、録画が自動的に停止します。

⚠ 注意

- 一部の自動車では、エンジンが始動しても (ACC がオンになっても) 自動的にオン／オフにならないことがあります。
自動車のエンジンとあわせて機器が自動的に電源オン／オフにならない場合、自動車の電源と機器の電源供給を手動で接続するか、機器を手動でオン／オフしてください。
- すべての録画および静止画はメモリーカードに保存されます。メモリーカードが一杯になると、録画はループされ、通常は最も古い録画ファイルから上書きされます。

解像度の設定

解像度の設定を変更するには以下の手順に従ってください。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して『解像度+ナイトモード』を選択し、続けて OK ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して設定したい解像度を選択し、続けて OK ボタンを押します。
4. 戻るボタンを押してメニューを終了します。

※工場出荷時：1080P HDRWDR

緊急録画

緊急録画を開始するには、以下のように操作します。

1. 録画の間、**QZ** ボタンを押すと緊急録画モードに入り
直後に『緊急録画』メッセージが画面に表示され、録画ファイルが
保護されます。
2. 緊急録画の長さは録画・録音間隔設定と同じく1分です。緊急録画の
録画時間が達すると通常録画に切り替わります。



⚠ 注意

緊急録画は専用フォルダ(Event)に保存され、常時録画により上書きされないように保護されます。

緊急録画フォルダ(Event)は使用しているmicroSDカード容量の40%を使用します。

例えば16GBのmicroSDカードの場合は約6.4GBを緊急録画ファイル用として使用されます。

緊急録画フォルダ(Event)がいっぱいの時に、新しい緊急録画ファイルが作成されると一番古い緊急録画ファイルが削除されます。

静止画の撮影

本機を使用して、写真を撮影することができます。

1. 録画中に▽ボタンを押して静止画を撮影します。
2. スクリーンショットが撮影されたことを示す📷のアイコンが画面中央に表示されます。



安全運転支援機能（車線逸脱アラート・追突防止アラート・長時間運転アラート・制限速度アラート・スピードカメラアラート等）はあくまでも参照用であり、簡易的に楽しむための付随的な機能です。必ず実際の道路状況に基づいて走行してください。

⚠ 注意

- 安全運転機能が同時に発することができ警告は 2 種類までです。音声および警告メッセージが同時に発された場合は、どちらかの警告が対処されるまで他の警告は無視されます。
- スピードカメラアラート、スピードカメラ位置登録、制限速度アラート、車線逸脱アラート、追突防止アラートなどの機能は GPS 衛星位置測定が完了している必要があります。これらの機能のご使用前に衛星による車両位置の特定が完了しているか確認してください。
- 車線逸脱アラート、追突防止アラートの検知は、雨天や夜間などの暗い環境では不正確になる場合があります。ドライバーが、実際の道路状況に基づいて、判断するようにしてください。

スピードカメラアラート(オービス警告)

全国のオービスポイント(スピードカメラの位置)が登録されています。車両がオービスポイントに近づくと音声および画面で警告を行います。この時、制限速度を超えていると、アラームが鳴り警告画面は赤色に変わり、速度を落とすように警告します。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目印ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して『スピードカメラアラート』を選択し、続けて Ⓢボタンを押して機能メニューを開きます。
3. △/▽ボタンを押して『オン』を選択し、Ⓢボタンを押して機能を有効にします。
4. 戻るボタンを押して録画画面に戻ります。



※工場出荷時：オン

⚠ 注意

1. スピードカメラアラート機能(オービス警告)はGPSが測位状態の時のみ動作します。(トンネル等でGPSが測位できない場合は作動しません)
2. 本製品のオービス警告はオービスポイントの案内を保証するものではありません。また、取締りの有無を案内するものではありません。オービスポイントを案内したか否かに関わらず、違反等に関して弊社は一切その責任を負いません。
3. 本製品のオービス警告時に表示される制限速度は、当社が独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また気象状況や規制により制限速度は変わりますので、現地の標識や指示にしたがって安全な運転を行ってください。
4. オービス警告時に表示される距離は、GPSの誤差や登録ポイントの場所、走行速度によって、誤差が生じるがありますが、異常ではありません。
5. スピードカメラアラートは録画中のみ動作します。スタンバイ時等では機能しません。

制限速度アラート

車両が設定した速度を超えて走行すると、ブザー音で速度を落とすように警告します。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して『制限速度アラート』を選択し、続けて OK ボタンを押して機能メニューを開きます。
3. △/▽ボタンを押して[オフ/50～200 km/h]から制限速度アラートを設定し、続いて OK ボタンを押して設定を完了します。
4. 戻るボタンを押して録画画面に戻ります。

※工場出荷時：オフ

⚠ 注意

GPS が測位状態の時のみ動作します。
(トンネル等で GPS が測位できない場合は作動しません)

長時間運転アラート

録画開始 1 時間後、および、その後 30 分毎に警告音と画面表示でお知らせします。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して『長時間運転アラート』を選択し、続けて OK ボタンを押して機能メニューを開きます。
3. △/▽ボタンを押して『オン』を選択し、OK ボタンを押して機能を有効にします。
4. 戻るボタンを押して録画画面に戻ります。

※工場出荷時：オフ

追突防止アラート

時速 60 km/h以上の速度で走行中に、前方の車両との距離が近づいた時に警告音と画面表示でお知らせします。設定は以下の手順で行います。

設定は、以下の手順で行います。

1. 設定ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して『追突防止アラート』を選択し、続けて OK ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して『オン』を選択し、OKボタンを押して機能を有効にします。
4. 戻るボタンを押して録画画面に戻ります。

※工場出荷時：オフ

⚠ 注意

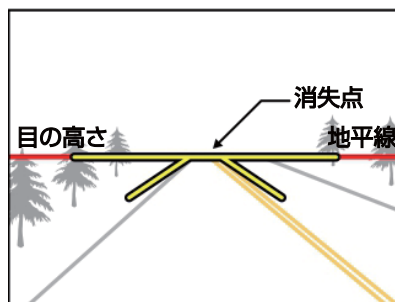
- 追突防止アラートは、GPS が測位状態でのみ動作します(トンネル等で GPS が測位できない場合は動作しません)。
- 追突防止アラートは撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません、道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
- 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。

車線逸脱アラート

時速 70km/h以上の速度で走行中に車線を変更する際、画面表示でお知らせします。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して『車線逸脱アラート』を選択し、続けて ㊟ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して『オン』を選択し、㊟ボタンを押して機能を有効にします。
4. ㊤ボタンを押して録画面面に戻ります。
5. 車線逸脱アラートを有効にすると、通常画面に位置あわせのアイコン  が表示されます。
位置あわせのアイコンが下図のようになるようにドライブレコーダーの角度を取付け時に調整してください。



※工場出荷時：オフ

⚠ 注意

- 車線逸脱アラートは、GPS が測位状態でのみ動作します(トンネル等で GPS が測位できない場合は動作しません)。
- 車線逸脱アラートは撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
- 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。
- ドライバーの視界を遮らないようにバックミラーの下に設置します(フロントガラスの中央上部) 録画面面に空と地面が 50% ずつ映るようドライブレコーダーを調整し、位置合わせアイコンを車線と揃えてください。機器が最大限の効果を発揮し、車線逸脱アラートの精確性を高めるには、正しい設置が不可欠です。
- 位置合わせアイコンが他の物体(ボンネットなど)に遮られないよう注意してください。

衝突検出(G センサー)

衝突検出機能が有効な場合、衝突が検出されると機器は緊急録画を開始します。

設定は、以下の手順で行います。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して『Gセンサー』を選択し、続けて ㊟ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して、機器の衝突検出感度（高感度/標準感度/低感度/オフ）を変更します。㊟ボタンを押して設定を完了します。
4. ㊤ボタンを押して録画面面に戻ります。

※工場出荷時：標準感度

⚠ 注意

緊急録画は専用フォルダ(Event)に保存され、常時録画により上書きされないように保護されます。

緊急録画フォルダ(Event)は使用しているmicroSDカード容量の40%を使用します。例えば16GBのmicroSDカードの場合は約6.4GBを緊急録画ファイル用として使用されます。

緊急録画フォルダ(Event)がいっぱいの時に、新しい緊急録画ファイルが作成されると一番古い緊急録画ファイルが削除されます。

衝突検出機能は車両衝突や事故を検知することを保証する機能ではありません。

駐車モード

駐車モード

※駐車モードを使用するためには、別売オプション電源が必要です。

駐車時に車両を監視するには、「パーキング録画」「衝撃検知」「タイムラプス」のいずれかを有効にします。

設定は、以下の手順で行います。

1.  ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2.  ボタンを押して『駐車モード』を選択し、続けて  ボタンを押して機能メニューに入ります。
3.  ボタンを押して駐車モードを設定し、 ボタンを押して設定を完了します。

※工場出荷時：オフ

パーキング録画

車両の ACC 電源が切れると、画面に「10 秒後にパーキング録画モードになります。OK を押すと電源が切れます。」というメッセージが表示され、10 秒後にパーキング録画に自動的に入ります。

このモードでは、常時録画と同様の録画を行います。録画ファイルは通常録画のファイルとして保存されます、ファイルが一杯の場合は上書きされます。衝撃を検知した場合は緊急録画と同様の保存になります。

※動作時間はオプション電源で設定を行います。

衝撃検知

車両の ACC 電源が切れると、画面に「10 秒後に衝撃検知モードになります。OK を押すと電源が切れます。」というメッセージが表示され、10 秒後に振動検知に自動的に入ります。

このモードでは、振動を検知した場合に録画を開始し、緊急録画のファイルとして保存されます。

※動作時間はオプション電源で設定を行います。

タイムラプス

車両の ACC 電源が切れると、画面に「10 秒後にタイムラプスになります。OK を押すと電源が切れます。」というメッセージが表示され、10 秒後にタイムラプスに自動的に入ります。

このモードでは、1 秒ごとに 1 フレームの録画を行います。※約 30 分間を 1 分の動画ファイルに記録します。

※動作時間はオプション電源で設定を行います。

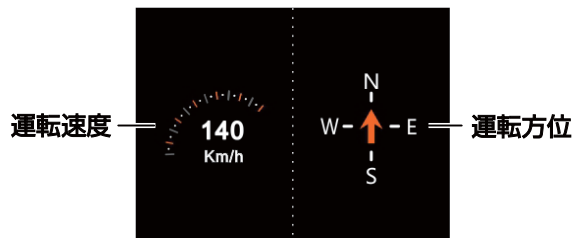
⚠ 注意

- 駐車モードを使用するにはオプション電源が別途必要になります。
- 駐車モードでの録画は、車両へのイタズラや当て逃げ等の録画を保証するものではありません。
- 駐車モードの動作時間の設定は、オプション電源で行います。

その他機能

機能チャート画面

録画中に、 ボタンを 3 秒間押すと、機能チャート表示に切り替えて車両情報を確認することができます。 ボタンを再度押すと、録画面面に戻ります。



⚠ 注意

GPS 衛星信号が受信されていない場合、運転速度、運転方位、はグレー表示になります。

スピードカメラ位置追加設定

任意の場所でオービスカメラポイントを追加登録することができます。

登録したいカメラ位置を通過時に△ボタンを押して速度カメラ位置を登録します。

本機ではオービス位置を 200 ヶ所まで追加保存することができます。これを超過して保存を試みると、「位置登録がいっぱいです」メッセージが表示されます。

⚠ 注意

- GPS が測位状態でのみ登録ができます。
- 追加登録したオービス位置は、設定メニュー『スピードカメラ位置登録』の全登録削除を選択して手動で削除することができます。
- 追加登録したオービス位置を通過時には、制限速度表示はされません。

フォーマット案内

定期的なフォーマットをお知らせする機能です。

本機で未使用の SD カードや前回のフォーマットから 30 日以上経過している SD カードの場合、電源を入れたときに、

「SDカードのフォーマットをお勧めします」とフォーマットを促す画面が表示され、アラームが鳴ります。

フォーマットを行うと表示されなくなり、さらに 30 日後に再表示します。

⚠ 注意

- 新しい SD カードを使用する場合、本機でフォーマットしてから使用してください。
- フォーマット案内はフォーマットを行うまで毎回表示されます。
- 電源を入れた時、フォーマット案内が表示された場合、「はい」または「いいえ」を選択し、通常の録画面面に戻ってください。フォーマット案内の表示中は録画はされません。

録画再生

録画ファイルは次のように再生します。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して『ファイル再生』を選択し、続けて ④③ ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して『録画／緊急録画／静止画』を選択し、続けて ④③ ボタンを押して機能メニューに入ります。
4. △/▽ボタンを押して再生したいファイルを選択して ④③ ボタンを押して再生モードに入ります。
5. 録画面面に戻るには ④③ を繰り返し押します。



再生画面

録画再生画面



静止画再生画面



番号	アイコン	項目	説明
1		戻るボタン	録画または静止画のプレビュー画面に戻るには、 ボタンを押します。録画画面に戻るには、 ボタンを繰り返し押します。
2		前のファイルボタン	ボタンを押すと前のファイルが表示されます。
3		次のファイルボタン	ボタンを押すと次のファイルが表示されます。
4		再生 / 一時停止ボタン	ボタンを押して録画 / 静止画を再生します。
5	00:10 / 01:00	再生時間 / 合計時間	録画の再生時間と合計時間の長さを表示します。
6	FILE0001.MOV	ファイル名	現在の録画 / 静止画のファイル名を示します。
7		電源ステータス	電源コードの状態を表示します。
8	1/7	ページ数	現在再生中のファイルと、ファイルの合計数。
9		前のファイルボタン	画像の表示中に ボタンを押すと前のファイルに切り替わります。
10		次のファイルボタン	画像の表示中に ボタンを押すと次のファイルに切り替わります。
11	2019/01/01 12:10	日時表示	録画した日付と時間。

ファイルの削除

ファイルを削除するには、次の手順に従ってください。

1. 目ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して『ファイル削除』を選択し、続けてⓈボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して録画/緊急録画/静止画から選択し、Ⓢボタンを押してメニューに入ります。

1 ファイル削除

△/▽ボタンを押して『1 ファイル削除』を選択し、続けてⓈボタンを押してメニューに入ります。

△/▽ボタンを押してファイルを開覧し、削除したいファイルを選択してⓈボタンを押してメニューに入ります。

△/▽ボタンを押してアイテムを選択し、続いてⓈ/↵ボタンを押して確定するかあるいは選択をキャンセルします。

すべて削除

△/▽ボタンを押して『すべて削除』を選択し、続けてⓈボタンを押してメニューに入ります。

△/▽ボタンを押してアイテムを選択し、続いてⓈ/↵ボタンを押して確定するかあるいは選択をキャンセルします。

4. 録画面面に戻るには↵を繰り返し押します。

⚠ 注意

削除されたファイルは復元できません。削除の前に必ずファイルをバックアップしてください。

設定メニュー

メニューの使用

設定メニューから、各設定をカスタマイズできます。

1. ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. ボタンを押してメニュー項目を選択し、続いて ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. ボタンを押して、値を選択または調整し、 ボタンを押して設定を確認します。
4. ボタンを押して録画画面に戻ります。

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
ファイル再生	表示したいファイルの種類を選択します。	録画/緊急録画/静止画	録画
衛星信号ステータス	現在の衛星信号受信状況を表示します。		
衛星時刻同期	衛星時刻に自動的に同期します。 この機能が有効化されると、衛星時刻が優先され、時間は手動では変更できません。	オン/オフ	オン
速度単位	速度表示の単位を選択します。	Km/h / mph	Km/h
スピードカメラアラート	本体に登録されているスピードカメラ(オービス)の位置に近づくとお知らせします。	オン/オフ	オン

設定メニュー

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
スピードカメラ 位置登録	登録: 手動でスピードカメラの位置を登録します(GPSが測位中のみ可能) 全登録削除: 手動で登録したスピードカメラの位置をすべて削除します(工場で登録されている位置は削除されません)	登録 全登録削除	
制限速度 アラート	設定した速度を、車の速度が超えると警告音とメッセージでお知らせします。	オフ/50km~200km	オフ
日時	日時と時刻を設定します		
日時表示	録画映像への日時表示の設定をします。	オン/オフ	オン
解像度 + ナイトモード	解像度とモードの設定をします。 右記の4つのモードを選択できます。 ・撮影する条件によってフレームレートは変動します。 ・ナイトモードは暗いところで、自動でフレームレートを調整し録画します。 ・1080p HDR&NIGHT MODEは撮影条件により自動で切り替わります。	1080P 1080P HDRWDR 1080P NIGHT MODE 1080P HDR&NIGHT MODE	1080p HDRWDR
明るさ	露出補正の設定をします。	露出値の補正を行います。 +2.0~-2.0	±0
LCD設定	電源を入れてから自動的にLCDモニターの表示をオフにする設定をします。	オン(常にモニターは表示します)/7秒後にオフ/1分後にオフ/3分後にオフ	
音声録音	録画の音声録音を設定します。	オン/オフ	オン
操作音	操作音の設定をします。	オン/オフ	オン

設定メニュー

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
音量	音量の設定をします。	0～10	5
駐車モード	駐車中の録画の設定をします。 ※別売電源が必要です	オフ/パーキング録画/衝撃検知/タイムラプス	
Gセンサー (衝突検出)	Gセンサーの有効/無効と検出の感度を設定します。	オフ/高感度/標準感度/低感度	標準感度
長時間運転アラート	録画開始1時間後、およびその後30分ごとに警告音と表示でお知らせします。	オン/オフ	オフ
車線逸脱アラート	70km/h以上で運転中、車線を変更する際、警告音と表示でお知らせします。	オン/オフ	オフ
追突防止アラート	60km/h以上で運転中、前の車との距離が一定以下になると、警告音と表示にてお知らせします。	オン/オフ	オフ
ファイル削除	記録したファイルを削除します。 ※削除したファイルは復元することが出来ません。	録画 緊急録画 静止画	
フリッカレス	LED信号機等のちらつきを軽減します。 東日本では50HZ、西日本では60HZに設定してください。	50HZ/60HZ	50HZ
SDカード 初期化	マイクロSDカードのフォーマットをします。 記録された全ファイルが削除され、復元することが出来ませんのでご注意ください。	はい/いいえ	いいえ
設定初期化	本機の設定を工場出荷の状態に戻します。	はい/いいえ	いいえ
ファームウェア バージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。		

▶ 再生ソフト(SuperCar)について

専用の再生ソフト（SuperCar）をパソコンにインストールして使用すると、録画映像を確認することが出来ます。
また、GPS の記録から再生している場所を地図上に表示することもできます。

再生ソフトは「www.j-e-s.co.jp」の製品サポートページからダウンロードしてください。

PC ビューアー（SuperCar）をクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

注意

SuperCar ソフトウェアは Windows7 以降のコンピューターのみ対応となります。

SuperCar(PCビューアー)

各部の名称と機能



番号	項目	番号	項目
1	録画映像プレーヤー 録画ファイル再生時に表示されます。	9	ファイルパス 録画ファイルの入ったフォルダーの保存場所が表示されます。
2	再生/一時停止 録画ファイル再生／一時停止をするときに押します。	10	ファイル検索 録画ファイルを検索します。
3	前へ ひとつ前の録画ファイルを見るときに押します。	11	ファイルリスト メモリーカードに記録されたファイルから「ファイル検索」で選んだファイルを表示します。
4	次へ ひとつ後の録画ファイルを見るときに押します。	12	ファイル名 選択されたファイル名が表示されます。
5	停止	13	音量
6	Google Map	14	再生時間/録画時間
7	方位計	15	信号雑音比 (SNR)
8	速度計	16	Gセンサー

操作手順（例：通常録画を再生する場合）

1. 本体の microSD カードをパソコンに接続します。（フォルダー名やファイル名は変更しないでください）
2. 「SUPER CAR」を起動します。
3. 『10（ファイル検索）』選択します。「ファイルを開く」が表示されますので microSD カードを選択し、「Normal」フォルダーを開きます。
4. 再生したい「MOV」ファイルを選択し「開く」を押してください。
（複数を再生したい場合は「Shift」キーを押しながら再生したいファイルを選択してください。）
- ※位置情報等のファイル（NMEA）もありますが、動画は MOV ファイルです。
5. 『11（ファイルリスト）』から再生したいファイルをダブルクリックすると再生を始めます。

- Map に経路を表示するには、再生を始める前にインターネットに接続する必要があります。
- 録画ファイル (MOV) と GPS/G センサーファイル (NMEA) は再生を始める前に同じフォルダーに保存する必要があります。
- ファイル名はフォルダー名を変更すると正常に再生できなくなりますので、ご注意ください。
- SuperCar ソフトウェアは Windows7 以降のコンピューターのみに対応です。

ファームウェア更新について

更新データダウンロード方法

1. <http://www.j-e-s.co.jp/> にアクセスします。
 2. **MIRUMO eye** のページより対象ファイルをダウンロードしてください。
- ※対応環境についてはサイトの【対応パソコン】の記載をご確認ください。

データ更新方法

- ① ドライブレコーダーに電源を入れてください。
メニュー「ファームウェアバージョン」でバージョンを確認してください。
- ② ドライブレコーダーの電源を切り、micro SD カードを取り出してください。
取り出した micro SD カードを PC にセットしてください。
- ③ PC にダウンロードした zip ファイル（圧縮ファイル）をダブルクリックで開き、中のファイル（DRC-510.bin）のみ micro SD カードにコピーします。
- ④ コピー完了後、micro SD カードをドライブレコーダーのメモリーカードスロットに戻し、電源を入れると自動的に更新されます。
- ⑤ 更新終了後、PC に保存したダウンロードデータ（DRC-510.bin）を削除してください。

⚠ 注意

- ① ファームウェアの更新には数分程度かかります。
必ず電源アダプターから電源が供給されている状態で行ってください。
また、更新中は絶対に電源を切らないでください。
- ② メモリーカードを本機から取り出すときは、メモリーカードが素早く排出されますので、無くさないようにご注意ください。
- ③ ファームウェアの更新を行うと各設定は初期設定に戻ります。
また、ご自身で登録したスピードカメラのポイントも消えます。
- ④ 本製品の電源がオンの時は、メモリーカードの取出しまたは挿入をしないでください。故障の原因となります。

仕様

項 目	説 明
映像素子	200万画素カラーCMOS
LCD ディスプレイ	2.3インチ LCDカラーモニター
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F値1.9
レンズ画角	水平115.2° 垂直60.5° (対角139.2°)
最大記録画角	水平111.8° 垂直57.3° (対角132.7°)
録画解像度	1920×1080(1080P Full HD)
フレームレート	27.5コマ/秒
フォーカス範囲	1.5m～無限
録画ファイル構成	1分単位
HDR + WDR	あり
ファイル形式	MOV (動画) / JPEG (静止画) / ADPCM (音声)
記録映像再生方法	本体LCD / 専用ビューアソフト
記録方式	常時録画 / 緊急録画 / 手動録画
音声録音	ON / OFF 可能
保存用電源	スーパーキャパシター内蔵
G センサー	有り (高感度 / 標準感度 / 低感度)
GPS	有り
スピーカー	有り
記録媒体	microSD (16GB付属) 8GB～32GB対応 (Class10以上)
動作温度範囲	0℃～+60℃
消費電力	約5.4W
電源電圧	DC12V/24V
外形寸法	57(幅) x 58(高さ) x 30(奥行) mm ※取付ブラケット装着時: 102.5(高さ)mm
本体重量	約 75g (付属品含まず)
製品保証	3年 (消耗品は除く)

保証規定

1. 保証期間内に、製造上の理由により不具合が生じた場合は、無償修理もしくは、代替の製品を用意させていただきます。 ※作業費用等は、お客様の負担となります。
2. 本製品は持込修理となっております、修理や点検にともなう脱着等の費用・レンタル代・輸送費等はお客様の負担となります。
3. 保証書のないもの、各記入事項欄に欠落、または無記入欄のある保証書は無効となりますので、保証対象外とさせていただきます。
4. 保証期間内であっても次に当てはまる場合は保証対象外（有償修理）になります。
 - 取り付けの不備による故障、損傷等
 - 本製品の不適合車種へ取り付けされた場合
 - 不正改造等による故障、損傷等
 - 天災（地震・落雷・火災・水害）等による故障、損傷
 - 交通事故による故障、損傷
 - 消耗品等の損傷、またはそれによる故障
 - 製品・部品・付属品を紛失された場合
 - 各説明書の注意点に従って使用しなかった場合
 - 保証書の無提示
 - 他社製品等の取り付けによる故障、損傷
 - お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障、損傷
 - 盗難による破損、または故障
 - 外的要因による破損や変形がある場合
 - 購入日の確認の取れる書類（レシート又は領収書）の提示がない場合
 - トラック・バン・タクシーなどの商用車両及び商用目的の車両に取り付した場合及びサーキット走行等
5. 保証対象は消耗品を除く本体のみになります。
（メモリーカード・ブラケット等の付属品は消耗品となりますので、保証対象外となります。）
6. 本製品の仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。
7. この保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)



ドライブレコーダー保証書

この保証書は裏面の「保証規定」に基づき、無償修理を行うことをお約束するものです。本書の再発行は出来ませんので、大切に保管してください。

品名	mIRUMo eye			DRC-510
ご購入日	年	月	日	保証期間：ご購入日より3年間 (本体のみ対象となります)
お名前				
ご住所				
電話番号				
販売店(店名・住所)				

Model No.

Serial No.